



令和 3 年 4 月 27 日

令和 3 年度広島大学地域の元気応援プロジェクト 募集を開始します

広島大学では、令和 3 年度地域の元気応援プロジェクトの募集を開始します。
本プロジェクトは、学生・教員・地域団体の 3 者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性化をめざす取り組みを、広島大学が支援するものです。

（助成額は、原則として 50 万円以内（基本 30 万円～50 万円）、採択は 10 件程度）

この事業では、最初に地域の方から、学生・教員に向けて、一緒に取り組んでみたい活動テーマを紹介していただくマッチングイベントを開催します。

そのイベントを活用して、地域活動に関心を持つ学生・教員と地域の方の 3 者のチームを結成し、地域を元気にするプロジェクトの企画を作成して、助成事業に応募していただきます。

第1段階：活動テーマを募集
（地域の人たちだけでは、解決が難しい課題をプレゼン）

第2段階：マッチングイベント
（提案した地域団体と広島大学の教員・学生とのマッチング）

第3段階：活動テーマに取り組むプロジェクトを公募
（地域団体と教員・学生が、共同で事業申請）

第4段階：プロジェクトの実施

本事業をスタートした令和元年度には、11 件の応募があり、その中から 8 件のプロジェクトを実施しました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で新規プロジェクトの募集は行いませんでしたが、既存の 6 プロジェクトからの提案内容に対して追加支援を行い、地域での活動の輪を広げたところです。その成果は、本学のウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccccc/genki2019>

「広島大学公式ウェブサイト」→「社会・産学連携」→「地域連携」→
「地域の元気応援プロジェクト」→「令和元年度実施状況」

本学では、専門性の高い先端的な研究とともに、研究成果を地域課題の解決に活かす実践に取り組んでいます。

本事業においても、SDGs の目標 11 住み続けられるまちづくりをめざして、学生と教員が地域の方とともに実践に取り組むことで、地域の元気を少しでも盛り上げたいと考えています。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携部 地域連携部門 三戸
TEL:082-424-5871



令和3年度

広島大学 地域の元気応援プロジェクト

地域の課題を募集します！

**地域の人たちだけでは、解決が難しい課題に、
学生・教員と“チーム”で取り組んでみませんか？**

**地域の方からの
活動テーマの募集期間**
4月27日（火）～
5月31日（月）

**チームからの
プロジェクトの募集期間**
6月7日（月）～
7月5日（月）

マッチングイベント ※オンラインに変更の可能性あり

応募いただいた活動テーマ（地域課題）を学生・教員に10分程度で紹介いただきます
その後、チームごとのテーブルを設けて、学生・教員と交流いただきます

日時

第1回 2021年6月8日(火) 16:00～18:00

第2回 2021年6月17日(木) 16:00～18:00

会場

広島大学東広島キャンパス 東図書館3階 畳コモンズ

地域の元気応援プロジェクト（助成事業）募集要項

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2>

お問い合わせ・お申込み

広島大学
学術・社会連携部地域連携部門

TEL 082-424-5871

MAIL chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

地域の元気応援プロジェクトの概要

広島大学では、令和元年度から、本学の学術的な蓄積や教員・学生等の力を活用し、地域社会が直面する課題の解決や地域の活性化のために貢献することを目的とした、「地域の元気応援プロジェクト」を実施しています。

地域社会や地域経済の維持や活性化などの様々な課題について、地域社会で課題の解決に取り組んでいる団体から広島大学に対して提案をいただき、そうした課題へ取り組む意向がある広島大学の教員・学生と地域団体との協議の上で、調査・研究活動や実践活動などに取り組むものです。

■助成額及び採択件数

助成額は、原則として50万円以内
(基本30万円～50万円)

- ・採択件数は、10件程度
- ・助成対象経費

謝金、旅費、印刷費、会議費、消耗品費
※予算配分は教員に対して行い、教員が執行

■応募要件

地域の課題に取り組む地域団体（住民自治組織、NPO団体、任意団体など）と、広島大学の教員・学生（団体）が1つのチームとして申請

地域における社会貢献活動として取組む企業と協働することは可能

■地域から募集する活動テーマの例

- ・コミュニティ活動の活性化
- ・人材育成の活性化
- ・地域経済の活性化 など

■地域団体から活動テーマの募集期間

■マッチングイベント

(地域団体から提出されたテーマを聞いて、教員・学生と地域団体が意見交換するイベント)

第1回:

令和3年6月8日(火) 16:00～18:00
東図書館3階 畳コモンズ

第2回:

令和3年6月17日(木) 16:00～18:00
東図書館3階 畳コモンズ

■補足

- ・活動テーマの応募、マッチングイベントへの参加がなくても、第3段階にプロジェクトの公募は可能です。
- ・報告会、意見交換会などを開催することがありますので、活動報告などにご協力ください。

第1段階：活動テーマを募集
(地域の人たちだけでは、解決が難しい課題をプレゼン)

募集期間：令和3年4月27日(火)～5月31日(月)

第2段階：マッチングイベント
(提案した地域団体と広島大学の教員・学生とのマッチング)

第1回：令和3年6月8日(火) 16:00～18:00

東図書館3階 畳コモンズ

第2回：令和3年6月17日(木) 16:00～18:00

東図書館3階 畳コモンズ

第3段階：活動テーマに取り組むプロジェクトを公募
(地域団体と教員・学生が、共同で事業申請)

募集期間：令和3年6月7日(月)～7月5日(月)

第4段階：プロジェクトの実施

令和3年8月～令和4年2月

マッチングイベントの様子



地域の方からの
プレゼン



個別に
交流・意見交換

■プロジェクト紹介サイト

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/ccc2>

地域の元気、広島大学が応援します！

広島大学地域の元気プロジェクト

Hiroshima University



令和3年4月15日
広島大学 学術・社会連携室

地域の元気応援プロジェクトの制度概要

Hiroshima University

大学の資源を活用した地域との連携

令和元年度からスタートした「広島大学地域の元気応援プロジェクト」は、学生・教員・地域団体の3者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性をめざす取組を、広島大学が支援するものです。

広島大学の地域との結びつきを大切にするという理念は、開学以来、一貫して変わることはなく、国際化の展開とともに「地域に根差す大学」として様々な取組みをしています。

■応募対象者

広島大学の学生＋広島大学の教員＋地域団体等
(地域と学生・教員により、連携して提案することが必要)

■募集等の日程

- ・募集 4月
- ・マッチングイベント(地域と学生・教員の出会い) 6月
- ・審査会 7月(学生・教員・地域によるプレゼン)
- ・事業実施 8月～2月(7か月)
- ・報告会 3月

■事業予算・採用件数

全体予算 400万円

採用件数 10件 (1件30万円～50万円)程度

地域社会が抱える課題への取組

地域社会と大学の双方の活性化

- ◇地域の人たちだけでは、解決が難しい課題
- ↓
- ◇広島大学の学生・教員が地域と一緒に具体的な事業を提案
- ↓
- ◇学生・教員・地域で活動し、地域を元気にする

SDGsの目標 11

・住み続けられるまちづくりを

- 令和元年度以降の採択テーマ
- 1.安芸太田町 三段峡インバウンド
- 2.東広島市志和 地域の学びの拠点形成
- 3.呉市久比地区 持続可能な水資源確保
- 4.呉市中通 商店街の賑わい創出
- 5.呉市音戸 散策マップ制作
- 6.呉市音戸 地域の資源掘り起こし
- 7.三原市大和町 浅野家献上茶の復活
- 8.尾道市瀬戸田町 レモン祭り企画・運営 2

地域の元気応援プロジェクト

Hiroshima University

地域の元気、
広島大学が
応援します！

○令和元年度の実績

- ・第1段階 プレゼン件数:19件
- ・第2段階 申請件数:11件
- ・第3段階 採択件数:8件(助成額1件あたり30万円)

○令和2年度の実績

- ・継続案件 6件を支援(コロナ禍のため、限定的な取組)

第1段階:活動テーマを募集

(地域の人たちだけでは、解決が難しい課題をプレゼン)

第2段階:マッチングイベント

(提案した地域団体と広島大学の教員・学生とのマッチング)

第3段階:活動テーマに取り組むプロジェクトを公募

(地域団体と教員・学生が、共同で事業申請)

第4段階:プロジェクトの実施



地域の元気応援プロジェクト(令和元・2年度実績)

Hiroshima University

◆Sandankyo Nature Trail Project

NPO法人三段峡ー太田川流域研究会さんけん ×
統合生命科学研究科 中坪 孝之

三段峡を自然や伝統文化を体験し学ぶことができるネイチャートレイル(自然散策道)として位置付け、外国人観光客をメインターゲットとし、情報を整理したガイドブックの作成・配布、エコツアーを企画・実行する。



◆中山間地域と大学を結び、世代を超えた学びの拠点を作ろう

つくれば工房 × 統合生命科学研究科 彦坂 暁

志和堀の古民家図書室ほたる荘と、併設するものづくりスペースつくれば工房をハブとして、世代を超えた学びの拠点を作る。IT/IoT技術を学べる環境の整備、サイエンス&テクノロジーWSの開催などを行う。



◆久比(くび)地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り

一般社団法人まめな × 総合科学研究科 小野寺 真一

大崎下島久比地区の水資源、井戸水の研究を皮切りに広島大学の学生が久比に集いやすい環境を整備し、これからの未来の地域の形、住環境の持続可能なあり方のモデルケースを発信する。



◆学生ワークショップによる公共空間利活用の提案と実践

NPO法人SYL × 工学研究科 田中 貴宏

呉市の老舗と新しい店舗がバランスよく共生する中通り2丁目エリアで、公共空間の利活用による、持続可能な賑わい創出の形を探っていく。



地域の元気応援プロジェクト(令和元・2年度実績)

Hiroshima University

◆音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案

特定非営利活動法人地域力で里山を再生する会 ×

工学研究科 田中 貴宏

音戸の瀬戸周辺地域は、歴史的な資源を有するが、近年では、新たな地域資源も整備され、ている。本プロジェクトでは、学生が中心となり、地域の人々と連携し、新たな地域資源発掘を行いつつ、デジタル散策マップを作成する。



◆音戸ドリームアイランドカレッジフィールド

NPO法人アースキューブジャパン ×

総合科学部国際共創学科 張 慶在

音戸ドリームアイランドカレッジフィールドは、海外や全国からクリエイターが訪れ、夢を具現化する地域人材を育成と、地域の住民の方と交流する事で、現場で気づきを得て、島の魅力を発見し世界に発信したり、課題を解決する若手人材を育成する。



◆楽しい 飲みん茶い

まほろばくろたに × 文学研究科 伊藤 奈保子

三原市黒谷は、江戸時代、浅野藩へ献上した茶を栽培していた名産地だが、一度途絶えた栽培を平成24年から有志で復活させた。この広島煎茶をより多くの方々に、楽しんでいただくために広島の工芸品でお茶を楽しく頂く空間を演出する。



◆レモンの島瀬戸田, 地域と環境にやさしく共生する島づくり(レモンのある暮らしーレモンを生活の中に豊かに生かすー)

せとだレモン祭実行委員会×教育学研究科 富永 美穂子

レモン生産量日本一で国産レモン発祥の地である尾道市瀬戸田町において、日本一の生産量を誇るレモンを核に、地域住民の気づかない瀬戸田町の素晴らしさを、県外者を含めた若い世代とともにとらえ、発信し、活性化につなげていく。

